

放射線治療とは・・・

がんは、1981年以來日本人の死亡原因の第1位となり、現在は全死亡者数の3人に1人ががんで亡くなっています。しかし、近年の診断技術、治療方法の進歩により、がんを克服する人が増えていることも確かです。

がん治療の3本柱の1つである放射線治療も、がん組織に集中的に放射線を照射し、周囲の正常組織への照射をできるだけ抑え副作用の少ない、がん治療の可能性を高める技術が進歩してきています。

放射線の種類と作用

放射線とは、空間や物質中を波のかたちや粒子でエネルギーを伝播するものを総称する言葉で、電磁波と粒子線の2種類に大きく分けられます。当病院の放射線治療は電磁波であるX線と粒子線である電子線を使用し、直線加速器による外部照射治療を行っています。

放射線が物質内を通過すると電離作用により、細胞のDNA切断を起し、細胞の成長と分裂を阻止します。がん細胞はその周囲にある正常な細胞より早く成長し、分裂するので、放射線治療はがんを治療する上で有用な方法となります。

放射線治療の流れ

診察・・・放射線治療医師が診察を行い、種々の検査結果などを参考にして治療方針を決定します。

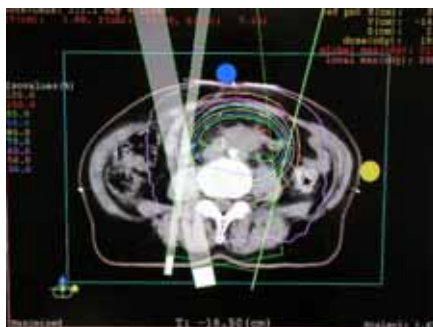
治療計画・・・最新鋭の多列検出器CTなどを使用し治療位置の確認を行います(約20分程度)。得られた画像情報を基にして治療計画用コンピュータを用い、実際に照射する前に最適な条件・範囲・方向を決めます。

放射線の照射・・・直線加速器の寝台に寝ていただき、毎日同じ部位に的確に照射を行います(約2~3分程度)。照射中は何も感じません。(また、照射の回数は病状・照射方法などにより変わります。詳しくは治療担当医師にお尋ねください。)

経過観察・・・照射中には最低でも週に一度は治療医の診察があります。照射終了後にも定期的に治療医師の診察があります。また、お気軽に治療室の技師・看護師にもご相談ください。



治療計画用CT



計画用コンピュータによる線量分布図



直線加速器(治療器)

また多摩南部地域病院では直線加速器による脳定位照射、温熱治療も行っております。詳しくは治療担当医師にご相談下さい。